

総 説

Health Locus of Control 尺度の開発と研究の動向

田 邊 恵 子

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 保健看護学科

(平成 7 年10月18日受理)

Development Process of the Health Locus of Control Scales

Keiko TANABE

*Department of Nursing, Faculty of Medical Welfare
Kawasaki University of Medical Welfare
Kurashiki, 701-01, Japan
(Accepted Oct. 18, 1995)*

Key words : Health Locus of Control, health-related behavior,
health education

Abstract

This article describes the development process of the Health Locus of Control scales. First, Rotter's social learning theory, which is the theoretical background of the Health Locus of Control construct, is outlined. The scale and research trends of the Locus of Control concept and those of the Health Locus of Control concept, which are based on Locus of Control, are then reviewed. Finally, the Health Locus of Control is discussed with regard to implications for health education.

要 約

健康教育の方法を探る基礎として保健行動, セルフケア行動に Health Locus of Control の適用が有効とされている。

ここでは, Health Locus of Control 尺度の開発過程について概説した。まず, 理論的基盤となる Rotter の社会的学習理論について述べ, ついで, Locus of Control と Health Locus of Control の尺度と研究の動向と健康教育における適用について述べた。

はじめに

今日では、保健医療においてセルフケアを目指した健康教育、患者教育の重要性は一層増してきている。しかし、そのための教育方法については未だ開発途上にある。その中で、教育方法を探る基礎として保健行動、セルフケア行動の形成、変容過程の解明が進められている。その一つとして、保健行動、セルフケア行動に社会的学習理論を基盤とした Locus of Control (以下 LOC と略す) を適用することはきわめて有効な方法であると指摘されており、主要な理論的枠組みとして活用されてきた¹⁾²⁾。

Rotter³⁾ 以降 LOC に関わる研究は相当数なされており、研究が進展するにつれて、LOC は一般的 LOC から特定期待を測定する特定領域を扱った LOC が開発されてきた。欧米では健康領域についても Health Locus of Control (以下 HLC と略す) が開発され、保健行動、セルフケア行動に適用した研究も多くなされている。我が国では、適用が始められたところであり、今後の研究が期待されている。

そこで、本研究では、LOC の概念と LOC 尺度及び HLC 尺度の由来と開発の歴史を明らかにし、さらに健康教育への適用について概説する。

Rotter の社会的学習理論における Locus of Control

人間の行動は人間と環境との相互作用の結果と捉えられてきた。そして、人間の認知機能を媒介として行動のメカニズムを解明する理論や立場がいくつか台頭してきた。個人には特有の認知様式があり、その構造的な特質が環境との関係を規定し、行動の個人差があらわれると考える立場があげられる。その中のひとつに、自分自身の力が自分の行為やその結果である成果に影響を及ぼすことができるか否か (統制可能性—不可能性) についての信念すなわち期待が行動を統制しているという考え方がある。このような期待を行動の重要な決定因として構築された認知的行動論がある。この考え方を発展させてきたもののひとつに Rotter の社会的学習

論があげられる。

多くの学習理論によれば、一般に、ある状況において強化を与えられた行動は、その後同一状況で、より生起しやすくなり、反対に強化されなかった行動の生起可能性は小さくなっていく。

しかし、Rotter³⁾ によれば、行動の生起可能性の増減を決定するのは、単純に、外的強化が与えられたか否かという問題ではなく、強化の受け手が、その強化を何と随伴したものとして認知するか、つまり、何がそれを招いたと知覚するかが大きな役割を演じているのであるという。そして、この変数を internal vs. external control of reinforcement あるいは、Locus of Control と呼んだ。

Rotter の社会的学習理論によれば、

- ① 行動ポテンシャル (Behavioral Potential : 以下 BP と略す)
：ある特定の強化 (Ra) に関して、ある状況 (S_1) で、個人がある特定の行動 (x) を起こす可能性
 - ② 期待 (Expectancy : 以下 E と略す)
：その状況 (S_1) で、x という行動をすることで強化 Ra が得られることを、その個人がどの程度確実とみなしているか
 - ③ 強化 (Reinforcement Value : 以下 RV と略す)
：状況 S_1 で強化 Ra がその個人にとってどの程度価値を持つとみなされるか
- ① 行動ポテンシャルは②期待と③強化との関数であるという。
式で表せば次式のようにになる。

$$BP_{x,S_1,Ra} = f(E_{x,Ra,S_1} \& RV_{a,S_1})$$

そして、RV と E とは互いに独立なものと考えられている。

さらに、ある特定の状況で、個人の持つ期待 (E_{S_1}) は、次の3つの要因から成り立っている。

- (1) その状況と同一の状況での先行経験に基づいた期待 (E')
- (2) その状況で目標とされている強化と機能的に類似した強化を得るために行った過去の様々の状況での試みから般化した期待 (generalized

expectancy reinforcement: 以下 GEr と略す, r は reinforcement の略)

- (3) その状況で、直面している問題をどのように解決するか、決定すべき事項は何かということ考えた場合、様々の次元が考えられるが、その各々に関して、類似とみなされた状況での先行経験から般化した期待 (problem-solving generalized expectancies, 以下 GEps₁…_n, ps は problem-solving の略)

ここで(2)と(3)とは、いずれも当該状況から般化した期待 (Generalized Expectancy) という点で共通点をもつが、(2)では目標とされる強化 (例えば、達成・依存・社会的承認など) の類似性という点が般化の基礎になるのに対して、(3)では、強化の種類にかかわらず、問題の解決の仕方の類似性、決定すべき事柄の性質の類似性が般化の基礎となっているという点が異なっているのである。そして、Es₁ と E', GEr, GEps₁…_n との関係は以下の式になる。

$$Es_1 = f \left(E' \& \frac{GEr \& GEps_1 \& GEps_2 \cdots GEps_n}{f(Ns_1)} \right)$$

ここで Ns₁ とは、個人の特定状況での先行経験の回数をあらわしている。そして上記の式は、その値が大きければ大きいほど、つまり同一状況を個人が経験していればいるほど、E を決定する E' の比重が大きくなることを示している。

GEps の代表的な次元として、Internal trust, つまり、他者を信頼するか否かという決定にかかわる一般的信念のほかに、LOC があげられている³⁾。それは、人格変数の一つであり、自分の行動とそれに引き続き生起する報酬や罰との関係の知覚の仕方、その最適な方法に関する般化期待あるいは信念とされている⁴⁾。そして、internal control と external control が LOC の2つの極にあげられるのである。

ある個人が、ある強化を自分自身の何らかの行動に引き続いて生じてはいるが、完全に自分の行動に随伴しているわけではないと知覚するとき、彼は、その強化を幸運・偶然・不運の結果とみなしたり、力のある他者 (Powerful Others) の統制下にあるものとみなしたり、彼をとりまく要因が非常に複雑であるために予測不能であ

ると知覚したりする。出来事が、ある個人によって、そのように解釈されるとき、その信念を内的統制と名づける。もし、彼がその出来事を、自分自身の行動あるいは自分自身の比較的永続的な特性に随伴していると知覚するならば、この信念を外統制と呼ぶ³⁾。

Locus of Control 尺度の開発

1) Locus of Control 尺度

LOC は質問紙を中心とした尺度によって測定される。この尺度の開発により LOC の測定が可能となった。成人用として LOC 尺度のなかで最も頻繁に用いられているのは Rotter Internal-External Control 尺度 (以下 Rotter I-E 尺度と略す) である。内的統制信念を表明する項目と外的統制信念を表明している項目とが対をなしており、被験者に一方を選択させるようになっている。29項目からなり、得点は、外的統制信念を選択した数であらわされる。様々の集団に対して、この尺度が施行されその結果内的整合性は0.65~0.79の値を示している。この値は十分高いとはいえないが、それは一つにはこの尺度がさまざまな欲求領域を超えた広範な LOC 信念を測定しようとしているためである^{2),5)}。

他に、測定内容に関し、基本的には Rotter I-E 尺度と軌を一にした成人用尺度には以下のものがあげられる。Nowicki-Strickland Internal-External Control Scale for Adults (以下 ANSIE と略す) は40項目から成る yes-no type の尺度である⁶⁾。この尺度は政治的統制に関するものは除き、主に個人的統制に関する40項目からなっている。また、無力性、規範のなさ、社会的孤立という3つの下位尺度より成る疎外尺度が作成されている⁷⁾。質問紙以外の方法では、投影法として、TAT カードを用いた Dies の尺度⁸⁾、文章完成法の Adams-Webber の尺度⁹⁾がある。

児童・生徒用尺度では、質問紙法としてよく使われているものとしては、Nowicki-Strickland Internal-External Control Scale for Children¹⁰⁾がある。これは成人用の ANSIE に対応する尺度で、やはり40項目から成り、yes-no

type である。その他、施行者が読みあげるという方式の尺度¹¹⁾、項目がテープレコーダーで再生され、それとともに項目内容を示す絵が用いられており、人種、民族の違いを超えて使用できるようにになっている尺度¹²⁾も作成されている。

達成（学業）に限った LOC を測定する尺度としては、有名な Intellectual Achievement Responsibility Questionnaire¹³⁾（以下 IRA と略す）がある。投影法のものとしては、P-F Study の方式に類似した Children's Picture Test of Internal-External Control¹⁴⁾がある。幼児に適用可能な尺度としては、Stanford Preschool I-E Scale¹⁵⁾が有名である。

2) 多次元的尺度の開発

Rotter の LOC の定義において、特に外的統制の定義が多義的であることが注目された。すなわち、強化が運による、力のある他者 (Powerful Others) の統制下にある、予測不能であるという、見方によってはかなり異なった性質を持つものが、一つにされているのである。この Rotter の概念規定に対する批判、ないし、その批判に基づいた実証研究が行われている。

Collins¹⁶⁾ は Rotter 尺度を用いながらカートタイプにして評定させるという方法を用いて因子分析を行った結果、4 因子を抽出し、LOC 概念の多次元性を示唆している。そして、LOC 概念の多義性を新しい尺度を作成することにより整理する試みがなされている。Levenson^{17), 18), 19)} は、外的統制の複雑さを指摘し、Internality (内的統制) Powerful others externality (他者統制)、Chance externality (偶然・運命的統制) の 3 つの下位尺度からなる新しい尺度を作成した。

LOC 概念が必ずしも一次的ではないという観点から、外的統制において強化の生起は偶然に支配されており、予測不可能であるという信念と、強化の生起は力をもった他者 (powerful others) の支配下にある、したがって自分の直接的な統制下にはないが、予測は可能であるという信念を区別し、これら運統制に内的統制を加え 3 つの認知様式を独立に測定しようとする多次元的尺度である。

LOC 概念の多次元性の主張は、次いで、一般

化した信念としての LOC 測定は適用領域によってその有効性を異にすることが明らかになり、欲求領域は個人領域と社会領域に区別すべきであるという主張をもたらした。その結果、特定領域に限った尺度が開発されてきている。前に述べた Crandall の IRA 尺度は、達成という欲求領域（特に学業場面）に限った尺度である。さらに、健康領域の中でも特定の保健行動に関する尺度として、体重用 LOC 尺度、歯科用 LOC 尺度、頭痛用 LOC 尺度等が作成されている。

LOC 尺度は種々開発適用され、一次元的一般的 LOC 尺度から、行動予測性を高めるため、多次元的かつ特定の欲求領域での尺度の開発に向かっている。

Health Locus of Control 尺度の開発

健康行動における LOC の研究の最初の試みは、Rotter I-E 尺度を用いてのものであった。肺結核入院患者の病状認知と LOC の関係を調べて、内的統制型は外的統制型よりも、自己の病状や結核についての知識や情報収集が的確であったことが報告されている²⁰⁾。糖尿病患者の病状認知については、内的統制型は外的統制型よりも一般に確かな情報を行っていることが確かめられている²¹⁾。

健康行動用の LOC 尺度を用いて健康行動を捉えようとした最初の試みは、Dabbs & Kirsch によるものである^{22), 23)}。健康統制への期待としての LOC と過去の保健行動すなわち、診療回数、歯科衛生、食事制限等との間に相関のあることが見出された。しかし、この試みは新しい LOC 尺度を開発して行ったものでないため、期待と動機づけとが分離できず不完全なものであった。

これとは別に、Wallston らは同じような問題に取り組んでいたが、Rotter I-E 尺度の存在に気づいてからは、健康行動領域独自 LOC 尺度の開発に着手した。まず完成したのが、Health Locus of Control である。この尺度は公開されて広く適用され、かなりの量の適用結果が収集された。その結果、大幅に有効性を発揮するものとはいえず、抜本的な改善が必要であった²⁴⁾。

そこで Wallston らは Levenson の 3 次元式

一般的 LOC 尺度を参考にしながら独自の新しい尺度を開発した。これが Multidimensional Health Locus of Control (以下多次元的 HLC と略す)である²⁵⁾。多次元的 HLC は Internality (内的統制) — 行動の自己責任, Powerful others externality (他者統制) — 医師, 看護婦, 家族, 友人の力, Chance externality (偶然・運命的統制) — 運命, 好機, 幸運, 偶然の所産の3次元からなる。すなわち, 人の健康問題の解決が自らの努力のある, なしによることが大きいと考える人と, 医師, 家族, 薬, 高度医療機器など自己外在的のものにまったく左右されると考える人と, 偶然や運によるもので予測できないと考える人に分けられた。健康情報探索行動, 減量のためのプログラムに対する満足度などを指標に妥当性が検討されている^{25),26),27)}。

小児用についても一般的 LOC ではなく健康領域尺度の必要性が指摘され, Parcel によって小児用 HLC 尺度が開発された²⁸⁾。

Health Locus of Control の健康教育への適用

LOC の活用法の一つに, 独立変数として用いられる場合がある。つまり, LOC の個人差が健康行動とどのような関係があるかをみようとするもので, 保健知識・行動, 歯科衛生, 喫煙節制, 体重調整, 予防行動, 健康関連情報探索, 自己管理行動などとの関係が分析され, 概ね有意な相関が認められている。

健康者に関しては, 12歳から17歳を対象とした調査で, 保健知識・行動と内的統制に正の相関を認めている²⁹⁾。同様に, 内的統制傾向と保健知識に正の相関, 他者統制, 偶然・運命的統制は負の相関, 健康状態には相関はないと報告されている^{30),31)}。公衆衛生講習会に参加した受講者で内的統制の者は外的統制の者に比べて高血圧症知識のチェック量が多かったことを見込んでいる³²⁾。歯科衛生と有意な相関を認めたものもある³³⁾。禁煙・減煙に関しては, 内的統制の者が禁煙・減煙に成功し, 長期に持続している者が多いことが確認されている^{34),35)}。高い内的統制, 低い偶然・運命的統制が禁煙6ヶ月後の状態と関係があったことが報告されている³⁶⁾。体重減量では, 体重調整に関する信念を測定する LOC

尺度を作成し, 減量程度とこの尺度との間に有意な相関が認められている³⁷⁾。

また, 予防行動については, 放射線に関する知識と予防行動とに内的統制と正の相関が認められている³⁸⁾。乳癌の自己検査の実施および検診の受診行動と HLC と相関のあることが報告されている^{39),40),41)}。

患者に対する適用では, てんかん患者の他者統制得点とてんかん情報探索行動との間に相関が認められている⁴²⁾。腎透析患者では, 内的統制傾向の者は外的統制の者より自己の症状についての知識が正確であった⁴³⁾。腎透析患者の食事療法の継続性の調査では, 内的統制の者が外的統制の者より, 食事療法を守っていると報告している⁴⁴⁾。腎移植患者でノンコンプライアンスの者は他者統制が高いことが明らかにされている⁴⁵⁾。

内的統制の者では, 積極的・自主的な保健行動がみられるが, 外的統制の者は, 自主的な行動はとりにくく, 保健医療従事者や家族や効果的な治療法への依存が強いものになる。したがって, 内的統制の者には内在的セルフケア態度を訓練することが効果的である。外的統制の者は, むしろ, 社会的なサポート (たとえば家族の援助) や環境条件を改善するといったプログラムがあれば, それには適応することができるであろう。対象が内的統制か外的統制かを区別し, 適合的な方法を選択して保健指導することが重要である²⁷⁾。

また, LOC の活用法には従属変数として用いられる場合がある。つまり, 健康増進のためのプログラムの有効性の評価や, 健康行動確立のための介入行為 (intervention) の評価の手段として用いる場合である。この場合はプログラム参加や介入の前後で LOC が内的統制傾向にどの程度変化したかを指標とする。独立変数として用いる場合には, LOC は安定的なもので, 容易には変化しないと考えられている。しかし, 従属変数として用いられる場合には, LOC は通常的人格特性とは異なり, 必ずしも長期に亘って安定した不変のものではなく, 短期的にも変化し得るものと考えられる。この意味で LOC は健康教育の効果を査定する一つの指標ともなり, 指標として用いている研究も相当数みられ

る 1), 2), 46), 47), 48), 49), 50), 51)。

一般にはあらゆる健康教育は、対象の自己統制能力を高めることを目指していると考えられる。そのような観点からすれば、健康教育を通して、自分自身の行動によって強化を統制し得るという信念の増大、すなわち内的統制傾向の増大がもたらされると期待される。

従来の健康教育では、主として内容あるいは健康関連情報の提供に焦点があてられ、特殊な技術を教えるための技法（ゆえに、学習者は指示に従ってその技術を試みる）、あるいは問題解決技法的な方略（自己観察の技術とか、資源の有効な活用についての知識）などが用いられてきた。これに対して、社会的学習理論に基づく健康教育およびセルフケア教育では、健康行動およびセルフケア行動は多くの文化的社会的心理的影響によって形成されるものであると考え、健康行動およびセルフケア行動を学んでいくプロセスに焦点をあてる。そして、対象が自分で健康行動およびセルフケア行動を実行していくという意志や能力を強化する¹⁾。

その他、患者の治療法の選択と LOC との相関を報告している研究もある^{52), 53)}。患者の問題の原因は主に患者自身にあると考えるか、環境的諸要因にあると考えるかという治療者の側の LOC と患者との交互作用について検討している研究もある⁵⁴⁾。そこでは、模擬的な治療場面および実際の治療場面の双方において、患者と治療者との LOC が一致している場合に、患者は治療が有効であるという期待を強く持つという結果を見いだしている。治療方法、治療者のいず

れにしる対象の認知様式に応じて適切な選択をする必要性が示唆されている。

以上述べたことをまとめると、LOC および HLC の健康教育、セルフケア教育への適用は、1) 健康行動の予測をし、個々の対象の認知様式に適合した指導方法を選択する。2) 健康教育の評価の指標とする。3) 内的統制を高める指導方法が健康教育にセルフケア教育において有効となる。の3点を挙げることができる。これらの意味において、今後 LOC、HLC は健康教育、セルフケア教育に適用されることが期待されよう。

わが国における LOC 研究は1970年代に入り開始された。尺度の作成では、速水⁵⁵⁾が Rotter の I-E scale を翻訳し成人用の尺度を作成し、ついで鎌原⁵⁶⁾らが LOC 尺度を作成している。この尺度は個人的統制に関するもので、欲求領域に限定されない比較的一般的な LOC 信念を測定しようとしており、18項目からなっている。健康領域では、渡辺⁵⁷⁾が Wallston らの HLC 尺度や MHLC 尺度、Parcel らの児童用 HLC 尺度および鎌原らの LOC 尺度を参考にして独自に作成した成人用 HLC 尺度がある。また、堀尾⁵⁸⁾は Wallston の多次元的 HLC 尺度の日本語版の作成を試みた後、日本人の健康・病気観を反映した日本人用の5次元尺度を新たに開発した。しかし、作成された尺度は妥当性の検討も行われているが、適用は十分とはいいがたく、その研究報告数においては欧米にははるかに及ばない。今後、日本人用の尺度の開発と健康教育での適用が望まれる。

文 献

- 1) Parcel GS & Nader PR (1977) Evaluation of a pilot school health education program for asthmatic children. *Journal of School Health*, **47**, 453—456.
- 2) Parcel GS, Nader PR & Roger JR (1980) Health locus of control and health values : Implications for school health education. *Health Values*, **4**, 32—37.
- 3) Rotter JB (1966) Generalized expectancies for internal versus external control of reinforcement. *Psychological Monograph*, **80**(1), 1—28.
- 4) Phares EJ (1968) Internal-external control and reaction to threat. *Journal of Personality and Social Psychology*, **10**, 402—405.
- 5) Rotter JB, Seeman M & Liverant S (1962) Internal versus external control of reinforcement : A

- major variable in behavior theory. In N. F. Washburne (Ed.), *Decision, Values and Groups Vol.2*. Oxford : Pergamon Press, pp473—516.
- 6) Nowicki S & Duke MP (1974) A locus of control scale for noncollege as well as college adults. *Journal of Personality Assessment*, **38**, 136—137.
 - 7) Dean DG (1977) Alienation : Its meaning and measurement. *American Sociological Review*, **26**, 753—758.
 - 8) Dies RR (1968) Development of a projective measure of perceived locus of control. *Journal of Projective techniques and Personality Assessment*, **32**, 487—490.
 - 9) Adams-Webber JR (1969) Generalized expectancies concerning the locus of control of reinforcement and the perception of moral sanctions. *British Journal of Social and Clinical Psychology*, **8**, 340—343.
 - 10) Nowicki S & Strickland R (1973) A locus of control scale for children. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, **40**, 148—154.
 - 11) Gozali J & Bialer I (1968) Children's locus of control scale : independence from response set bias among retardates. *American Journal of Mental Deficiency*, **72**, 622—625.
 - 12) Gruen GE, Korte H & Stephens AD (1974) Group measure of locus of control. *Development Psychology*, **10**, 683—686.
 - 13) Crandall VJ (1965) Child's beliefs in their own control of reinforcements in intellectual-academic achievement situations. *Child Development*, **36**, 503—516.
 - 14) Battle ES & Rotter JB (1963) Children's feelings of personality control as related to social class and ethnic group. *Journal of Personality*, **31**, 482—490.
 - 15) Mischel W & Zeiss R (1974) Internal-external control and persistence : validation and implications of the Stanford preschool internal-external scale. *Journal of Personality and Social Psychology*, **20**, 265—278.
 - 16) Collins BE (1974) Four components of Rotter I-E scale : Belief in a difficult world, a predictive world, and a politically responsive world. *Journal of Personality and Social Psychology*, **29**, 81—391.
 - 17) Levenson H (1973) Multidimensional locus of control in psychiatric patients. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, **41**, 397—404.
 - 18) Levenson H (1974) Activism and powerful others : distinctions within the concept of internal-external control. *Journal of Personality Assessment*, **38**, 377—383.
 - 19) Levenson H & Miller J (1976) Multidimensional locus of control in sociopolitical activists of conservative and liberal ideologies. *Journal of Personality and Social Psychology*, **33**, 199—208.
 - 20) Seeman M (1962) Alienation and learning in a hospital setting. *American Sociological Review*, **27**, 772—783.
 - 21) DuCette JP (1974) Some thoughts on the current status of control research : Sex differences in dimensions of internal control. *Psychological Reports*, **42**, 57—58.
 - 22) Lowery BJ & DuCette JP (1976) Disease-related learning and disease control in diabetics as a function of locus of control. *Nursing Research*, **25**, 358—362.
 - 23) Dabbs JM & Kirscht JP (1971) Internals and the taking of influenza shots. *Psychological Reports*, **28**, 959—962.
 - 24) Kirsch JP (1972) Perception of control and health beliefs. *Canadian Journal of Behavioral Science*, **4**, 225—237.
 - 25) Wallston KA, Wallston BS & Devellis RF (1978) Development of the multidimensional health locus

- of control (MHLC) scales. *Health Education Monographs*, **6**, 161—170.
- 26) Wallston KA & Maides S (1976) Health-related information seeking as a function of health-related locus of control and health value. *Journal of Research in Personality*, **10**, 215—222.
 - 27) Wallston BS, Wallston KA, Kaplan GD & Maides SA (1976) Developmental and validation of the health locus of control (HLC) scale. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, **44**, 580—585.
 - 28) Parcel GS & Meyer MP (1978) Development of an instrument to measure children's health locus of control. *Health Educational Monograph*, **6**, 149—159.
 - 29) Riggs RS & Norland MP (1984) Factors related to the health knowledge and health behavior of disadvantaged black youth. *Journal of school Health*, **54**(11), 431—434.
 - 30) Norland MP, Riggs RS & Hall JW (1985) Relationships among health knowlege, health locus of control and health status in secondary special education students. *The Journal of Special Education*, **19**(2), 177—187.
 - 31) Norland MP, Riggs RS & Hall JW (1987) A descriptive study of health locus of control and health status in secondary special education students. *Health Education*, **18**(4), 8—13.
 - 32) Toner JB & Manuck A (1979) Health locus of control and health-related information seeking at a hypertention screeing. *Social Science and Medicine*, **13A**, 823—830.
 - 33) Regis D (1994) Differential prediction of dental health behavior by self-esteem and locus of control in young adolescents. *Journal of Clinical Periodontology*, **21**(1), 7—12.
 - 34) Kaplan GD & Cowles G (1978) A health locus of control and health value in the prediction of smoking reduction. *Health Education Monographs*, **6**, 129—137.
 - 35) Wildman HE, Rosenbaum K, Frammer LK, Keane MB & Johnson GS (1979) Smoking cessation : Predicting success with the locus of control scale. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, **47**, 116—122.
 - 36) Shipley RH (1980) *Effect of follow up letters on maintenance of smoking abstinence*. Paper presented at the annual meeting of the Midwestern Psychological Association, St. Louis, Missouri.
 - 37) Tobias LL & Maides HJ (1977) Internal locus of control and weight loss : An insufficient condition. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, **45**(4), 647—653.
 - 38) Kennedy CJ, Probart CK & Dorman SM (1991) The relationship between radon knowledge, concern and behavior, and health values, health locus of control and preventive health behaviors. *Health Education Quarterly*, **18**(3), 319—329.
 - 39) Bundeck KI (1993) Role of health locus of control beliefs in cancer screening of elderly Hispanic women. *Health Psychology*, **12**(3), 193—199.
 - 40) Murray M (1993) Health beliefs, locus of control, emotional control and women's cancer screening behavior. *British Journal of Clinical Psychology*, **32**(1), 87—100.
 - 41) Wehrwein TC (1993) Brest health promotion : behaviors of middle women. *Journal of Holistic Nursing*, **11**(3), 23—236.
 - 42) Devellis RF, Wallston BS & Wallston KA (1980) Epilepsy and learned helplessness. *Basic and Applied Social Psychology*, **1**, 241—253.
 - 43) Sproles KJ (1977) Health locus of control and knowledge of hemodialysis and health maintenace of patient with chronic renal failure. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, **43**, 384—388.
 - 44) Levin M (1971) Hypothesis theory and nonlearning despite ideal S-R reinforcement contingencies. *Psychological Review*, **78**, 130—140.
 - 45) Kiley DJ (1993) A study of treatment comliance following kidney transplantation. *Transplantation*,

- 55(1), 51—56.
- 46) Belsky J (1994) The effects of self-hypnosis for children with cystic fibrosis : A pilot study. *American Journal of Clinical Hypnosis*, **36**(4), 282—292.
- 47) Greendale GF (1993) The effect of a health vest on perceived health status and bone density in older persons. *Quality of Life Research*, **2**(2), 141—152.
- 48) Labbe EE (1993) Skin-temperature biofeedback training : cognitive and developmental factors in a nonclinical child population. *Perceptual and Motor Skills*, **76**(3), 955—962.
- 49) Roter DL (1977) Patient participation in the patient-provider interaction : the effects of patient question asking on the quality of interaction, satisfaction and compliance. *Health Education Monographs*, **5**, 281—315.
- 50) Shope JT (1993) Assessment of adolescent refusal skill in an alcohol misuse prevention study. *Health Education Quarterly*, **20**(3), 373—390.
- 51) VanArsdell WR (1972) Visits to an elementary school nurse. *Journal of School Health*, **42**, 42—148.
- 52) Barlow JH (1993) Health locus of control, self-help and treatment adherence in relation to ankylosing spondylitis patients. *Patient Education and Counseling*, **30**(3), 197—212.
- 53) Furnham A (1993) A comparison of health beliefs and behaviors of clients of orthodox and complementary medicine. *British Journal of Clinical Psychology*, **32**(2), 237—246.
- 54) Foon AF (1986) Effect of locus of control on counseling expectations of clients. *Journal of Counseling Psychology*, **33**(4), 462—464.
- 55) 速水敏彦 (1973) Locus of Control に関する研究(1). 日本心理学会第37回発表論文集, 570—571.
- 56) 鎌原雅彦, 樋口一辰, 清水直治 (1982) Locus of Control 尺度の作成と信頼性, 妥当性の検討. 教育心理学研究, **30**(4), 38—43.
- 57) 渡辺正樹 (1985) Health Locus of Control に関する研究 — 尺度の作成と高校生の保健行動との関連 — . 日本教育心理学会第27回大会発表論文集, 462—463.
- 58) 堀尾裕子 (1991) 日本版 Health Locus of Control 尺度の作成. 健康心理学研究, **4**(1), 1—7.

資 料

MULTIDIMENSIONAL HEALTH LOCUS OF CONTROL SCALES

Internal Health Locus of Control

- 1 . If I get sick, it is my own behavior which determines how soon I get well.
- 2 . I am in control of my health.
- 3 . If I take care of myself, I can avoid illness.

Powerful Others Health Locus of Control

- 1 . Having regular contact with my physician is the best way for me to avoid illness.
- 2 . Whenever I don't feel well, I should consult a medically trained profession.
- 3 . my family has a lot to do with my becoming sick or staying healthy.

Chance health Locus of Control

- 1 . No matter what I do, if I am going to get sick, I will get sick.
- 2 . Most things that affect my health happen to me by accident.

(Wallston, KA, Wallston, BS, & Devellis, RF (1978) Development of the multidimensional health locus of control (MHLC) scales. *Health Education Monographs*, **6**, 161. より一部掲載)